

緩和ケア医のロゴセラピー¹

佐藤真彬

1. 緩和ケアとは

私は緩和ケア医なのですが、「緩和ケア」とは何か？ ということを簡単に紹介します。緩和ケアとは「命が残り数カ月の人の苦痛を、薬や人の手をはじめ、使えるものは何でも使ってできる限り改善していく。そうして人生の終末期においても生き続けやすくする」ものです。私はそんな医療にかかわる人間です。

人は統計的には100%の確率で最期を迎えます。では医学的にどういう最期が想定されるのかをみていきましょう。

2. 人生の終末期の医学的特徴

人の死因は癌が4人に1人で1位、2位心疾患、3位老衰、4位脳血管疾患、5位肺炎となっています¹⁾。3位の老衰ですが、2010年代から増え始めて2018年に3位にまで上昇してきました。これは近年の医療技術向上により、目立った疾患もなく、徐々に衰弱が進んで亡くなる方が増えてきたためだと言われています。

このように病や老衰によって人は最期を迎えてゆくのですが、それぞれに最期の迎え方には特徴があります。

図1をご覧ください。癌は死を迎えるまでの数カ月で急激に状態が悪化して最期に向かって行く、心肺疾患は悪化と寛解を繰り返しつつ徐々に全身状態が悪化して最期を迎える。認知症や老衰は機能低下した状態（動けない状態）が年単位